

中期経営計画の全体像

だから挑む。

―地域の未来を、たしかなカタチに― (2026年度～2028年度)

「長期ビジョン2030」の実現に向けて、総合コンサルティング・グループとしての“**挑戦**”を加速

名称に込めた想い

目的や理由は異なっても、皆が“誰か”(地域・お客さま・従業員・株主)のために、チャレンジする企業でありたい。そして、挑戦するひとの想いを応援できる企業でありたい。
そういった、一人ひとりの挑戦の積み重ねが大きな挑戦となり、地域やお客さまの“未来”をたしかな“カタチ”にしていく。

果実 -Fruits- = 得られる果実

経営目標
-挑戦指標-

一経営基盤指標(経済価値)

連結ROE	8.0%以上	親会社株主に帰属する当期純利益	350億円以上	連結自己資本比率	11.5%～12.5%	単体コアOHR	55%程度
-------	--------	-----------------	---------	----------	-------------	---------	-------

一ウェルビーイング指標(環境・社会価値)

職員のエンゲージメントスコア	持続的向上	「法人のお客さまアンケート」評価結果	持続的改善	CO ₂ 排出量削減率-2013年度比	カーボンニュートラル	個人のお客さまNPSスコア	持続的改善
----------------	-------	--------------------	-------	--------------------------------	------------	---------------	-------

基本テーマ

増生する資本

個別戦略

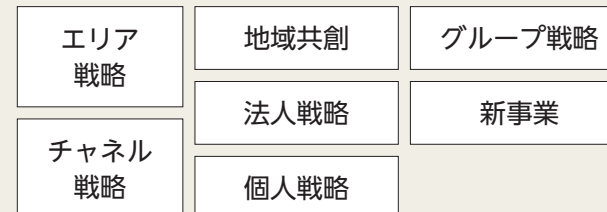
マテリアリティ

枝葉 -Branches- = 葉を広げてそれぞれの枝葉に花や実を生産

基本テーマ 3
地域経済成長に挑戦

金融・非金融のサービスを通じて百十四グループならではの価値を提供(外部価値創出)

- ▶ 社会関係資本(地域との共創関係)
- ▶ 財務資本(収益性向上)



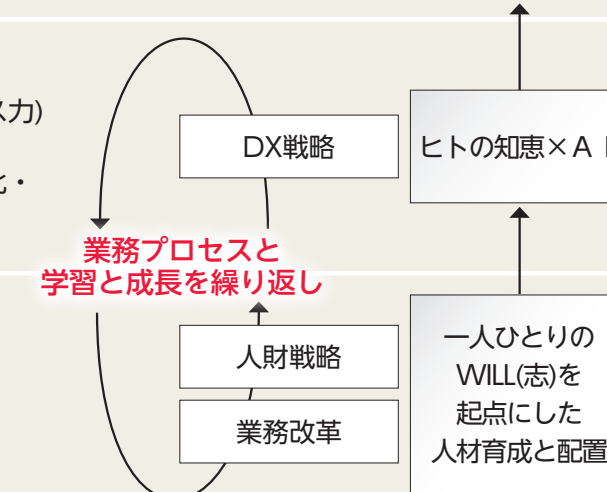
地域経済活性化への取組み
人生100年時代への対応

幹 -Trunk- = 水や栄養を枝葉へ運ぶ橋渡し

基本テーマ 2
金融DX推進に挑戦

データドリブン経営による顧客体験と生産性の向上(業務能力高度化)

- ▶ 知的資本(データ・AIサービス力)
- ▶ 製造資本(業務プロセス高度化・効率化)



DXの実現と地域社会のデジタル化

根 -Roots- = 木全体を支え、水や養分を蓄える

基本テーマ 1
人財価値創出に挑戦

すべての価値創出の源泉である百十四グループの人財価値を最大化(全資本の源泉)

- ▶ 人的資本(能力・挑戦力向上)
- ▶ 知的資本(暗黙知の組織知化)

多様な人材が活躍・成長できる環境の整備

土壌 -Soil- = 水分や栄養の供給源であり生態系としての基盤

基本テーマ 4
経営基盤強化に挑戦

事業活動を支える基盤を強化(信頼性・安定性)

- ▶ 社会関係資本(信頼性・レピュテーション)
- ▶ 製造資本(内部統制・業務の安定性)
- ▶ 財務資本(健全性・資本効率向上)

環境保全	資本政策
預金戦略	コストコントロール
市場運用	ガバナンス

気候変動等、環境課題への取組み
持続可能な経営基盤の構築

財務・未財務の視点

地域社会・顧客の視点

業務プロセスの視点

学習と成長の視点